

【岐阜県鉱工業指数作成の概要】

- 1 基準時 平成17年
- 2 採用品目 付加価値額ウエイト生産指数 187(188)品目
生産者製品出荷指数 185(186)品目
生産者製品在庫指数 127品目
注：()は電力・ガス事業を加えた数字である。
- 3 ウエイト 業種別ウエイト算出の基礎資料は、製造工業については「平成17年工業統計調査」、鉱業については「本邦鉱業のすう勢調査」から求め、個々の品目ウエイトは上記以外に「経済産業省生産動態統計調査」「岐阜県鉱工業生産動態統計調査」などによっている。
なお、採用品目がない、又は、極端に代表率が低いものについては、業種全体又は財全体にふくらましを行った。
- 4 算式 基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)
- 5 分類 分類は、日本標準産業分類に準拠し、これに該当する各品目を所属させた業種分類と、品目の経済的用途に着目した特殊分類の二通りの方法によっている。
- 6 季節調整 センサス局法(X-12-ARIMAの中のX-11デフォルト)
- 7 年間補正 平成23年1月分から平成23年12月分までの実績値を見直して確定値を算出し、原指数を再計算、同時に季節指数を再計算し、季節調整済指数を更新した。
- 8 利用上の注意(1) 解説文中で特に注意書きのない場合、生産指数の動向を述べたものである。
(2) グラフに記入された ~ の数字は、第1四半期~第4四半期(暦年ベース)を表している。
(3) 指数の伸び率の記述は、原則として「上昇」、「低下」を用いているが、品目別分類を使用する場合には、混乱を避けるため「増加」、「減少」を用いている。
(4) 在庫指数の年、四半期の数値は、年末、期末値を用いている。